

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	国語		学年	第3学年
時間数	105	教科書	現代の国語3（三省堂）・新しい書写 一・二・三年（東京書籍）	
副教材	よくわかる国語の学習3（明治図書出版）・単元プリント 学習の達成 国語 3年（新学社）・新版 漢検級別対応パーフェクト常用漢字（第一学習社）			

学習目標	<p>1・2年次の学習内容を踏まえて、日常生活における国語力を高めます。</p> <p>古文や漢文におけるものの見方や考え方に触れ、音読を通して古典に親しむ姿勢を身に付けます。</p> <p>様々な文章に触れ、分かりやすく伝えたり、正確に読み取ったり、論理的に考えたりする力を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。</p> <p>音読を繰り返すことによって、漢字や語句の意味、言葉の使い方を文章の中で覚えていく習慣を身に付けましょう。</p> <p>グループでの話し合いや発表を通じて、互いの考えを尊重しながら課題を解決する力を身に付けましょう。</p>
評価の方	<p>定期考査の成績、授業中の積極的な発言や聞く姿勢、提出物への取組などから総合的に評価します。</p> <p>興味・関心・意欲の程度、話す能力や聞く能力、書く能力、読み取る能力、そして、言語に関する事項の理解度を分析し、総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
<p>1学期</p> <p>学びの扉をひらく</p> <p>かかわりを捉える</p> <p>言語事項</p>	<p>語句や描写について感じたことや考えたことを深めます。</p> <p>人物の心情を読み取り、自分の考えと照らし合わせます。</p> <p>言葉の単位・文節の関係、書写について学習します。</p>
<p>2学期</p> <p>ことばを磨く</p> <p>古典に学ぶ</p> <p>多角的に考える</p> <p>情報を読み解く</p> <p>言語事項</p>	<p>描写に注意し、人物の心の動きの変化をとらえます。</p> <p>音読を通して、古典の世界に親しみます。</p> <p>筆者の主張と具体例との関係を考えます。</p> <p>文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する。</p> <p>漢字の成り立ち・漢字の音と訓、書写について学習します。</p>
<p>3学期</p> <p>読みを深め合う</p> <p>広がる世界へ</p> <p>言語事項</p>	<p>語句や描写について感じたことや考えたことを深めます。</p> <p>表現の工夫に注意して、筆者の考え方を読み取ります。</p> <p>言葉も時間によって変化することを学習します。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成 29 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	社会		学年	第 3 学年
時間数	140	教科書	新しい日本の歴史（育鵬社）・新しいみんなの公民（育鵬社）	
副教材	学び考える歴史（浜島書店）・最新公民資料（浜島書店）			

学習目標	<p>（歴史的分野） 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて学びます。我が国の歴史への関心を高めるとともに、社会の向上に尽くした人物や、我が国の歴史に深く関わっている諸外国の歴史や文化を尊重する態度を養います。また、様々な資料を活用し、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現する能力を養います。</p> <p>（公民的分野） 個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深めるとともに、公民として必要な基礎的教養を培います。現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現する能力を育てます。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に、教科書、資料集、地図帳を活用して学習内容を整理し、理解していきます。定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。</p> <p>長期休暇等で出される課題や、課題の確認テストで、学習内容を復習し定着を図ります。</p>
評価の仕方	<p>授業へ参加する態度や、定期考査の点数、提出物の状況等を総合的に評価します。</p> <p>学習に対して意欲的に取り組んでいるか、歴史的分野や公民的分野の知識が身に付いているか、資料から読み取ったり考えたりすることができているか、歴史的事象や公民的事象に関する事象について考え、自分の意見を表現できているか、という観点で総合的な評価を行います。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
<p>1 学期</p> <p>（歴史的分野） 第 5 章 二度の世界大戦と日本 第 1 節 第一次世界大戦の日本と世界 第 2 節 第二次世界大戦終結までの日本と世界</p> <p>第 6 章 現代の日本と世界 第 1 節 第二次世界大戦後の民主化と再建 第 2 節 経済大国・日本の国際的役割</p> <p>（公民的分野） 第 1 章 私たちの生活と現代社会</p>	<p>二つの世界大戦発生における関係諸国と日本の動きや、世界大戦発生の背景を学習します。</p> <p>第二次世界戦が終わり、敗戦国である日本が占領政策を経て民主化・再建していく過程を学習します。</p> <p>現代社会の特徴と、私たちとの関わりについて学習します。</p>
<p>2 学期</p> <p>第 2 章 私たちの生活と政治 －日本国憲法の基本原則－</p> <p>第 3 章 私たちの生活と政治 －民主政治と政治参加－</p>	<p>日本国憲法の基本原則である国民主権・平和主義・基本的人権の尊重について学習します。</p> <p>我が国の選挙の仕組みや三権分立、地方政治の仕組みについて学習します。</p>
<p>3 学期</p> <p>第 4 章 私たちの生活と経済</p> <p>第 5 章 私たちと国際社会の課題</p>	<p>私たちの消費活動や企業の活動、市場経済や金融の仕組みについて学習した後に、政府の財政政策や社会保障制度について学習します。</p> <p>現在の国際社会の仕組みについて学習した後に、地球規模での諸問題について学習します。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学		学年	第3学年
時間数	122	教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）	
副教材	未来へひろがる数学問題集3（啓林館）			

学習目標	1・2年生で学習した内容を基本として、関数や図形の性質などを見だし、発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習の方法	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や級友に質問してみましょう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価の仕方	定期考査の成績、提出物、授業に取り組む態度等を総合的に評価します。 日々の課題や週末課題などの提出物は、期日までに提出できているかどうか、しっかりと取り組んでいるかどうかを評価します。授業に取り組む態度は、教師の話を私語なくしっかりと聞いているか、積極的に発表をしているか、ノートを丁寧に取っているか、意欲的に問題に取り組んでいるかなどが評価の対象です。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 1章 式の展開と因数分解 （素因数分解～） 2章 平方根 3章 二次方程式	素因数分解、因数分解を学びます。また、乗法の公式や因数分解を利用して、整数や図形に関する証明問題に取り組みます。 平方根の定義を理解し、その四則計算や分母の有理化などの計算方法を学びます。 二次方程式を、平方根や因数分解を利用して解くことを学び、日常生活における問題を、二次方程式を用いて解決していきます。
2学期 4章 関数 $y = ax^2$ 5章 図形と相似 6章 円の性質 7章 三平方の定理	関数 $y = ax^2$ の特徴を理解し、放物線の式を求めたりグラフを描いたりするとともに、身の周りにある関数 $y = ax^2$ について調べ、その利用法を知ります。 図形の相似について理解し、三角形の相似条件を根拠とした証明を学びます。また、平行線における様々な性質を理解し、それらを用いた比の計算を学びます。 円周角や中心角などの語句を知り、円周角の定理を学びます。 直角三角形において成り立つ三平方の定理を理解し、座標平面や空間図形に応用できることも学びます。
3学期 8章 標本調査	全数調査、標本調査の定義を理解し、それぞれの調査の方法を学びます。また、実際に標本調査を行い、母集団の性質を推測します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学	科目	数学 I	学年	第3学年	類型	
時間数	18	教科書	改訂版 新編 数学 I（数研出版）				
副教材	教科書傍用 クリアー数学 I + A						

学習目標	<p>1 数と式について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力、態度を伸ばす。</p> <p>2 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させる。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させる。</p>
評価の方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価する。また、平常の予習・授業・復習の取り組みについても評価の対象とする。</p> <p>数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理・知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価する。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
3 学期 第1章 数と式	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにします。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるように学習します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	理科		学年	第3学年
時間数	140	教科書	新しい科学 3（東京書籍）	
副教材	理科の完全学習3年（正進社）・確認から発展へ 理科3年（領域別シート付）（学宝社）			

学習目標	化学変化とイオン、生命の連続性、運動とエネルギー、地球と宇宙、科学技術と人間、自然と人間に関する事物・事象について学習します。日常生活と関連付けることで、これらの事物・事象への興味・関心を高め、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けます。
学習の方法	○ 教科書を中心に、授業を進めていきます。 ○ 実験・観察を通して、実験・観察の技能、結果のまとめかたなども学びます。 ○ 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 ○ 長期休暇等で出される課題や、課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	授業へ参加する態度や、定期考査の点数、ノート作りや提出物の状況、実験・観察への取組方などを総合的に評価します。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	単元1 化学変化とイオン	化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解するとともに、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連づけて見る見方や考え方を学びます。身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長と増え方、遺伝現象について理解し、生命の連続性についての認識を深めます。生物の成長や生殖を細胞レベルでとらえるとともに、細胞分裂の様子や、植物、動物の生殖、親から子に形質が伝わる仕組みについて学習します。
	第1章 水溶液とイオン	
	第2章 化学変化と電池	
	第3章 酸、アルカリとイオン	
	単元2 生命の連続性	
	第1章 生物の成長と生殖	
2 学期	第2章 遺伝の規則性と遺伝子	力や物体の運動についての観察・実験を行い、力の基本的な性質を理解して運動の規則性を学びます。力学的エネルギーに関わる実験を行い、仕事の概念からエネルギーの移り変わりや保存について理解します。身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深めます。
	単元3 運動とエネルギー	
	第1章 物体のいろいろな運動	
	第2章 力の規則性	
	第3章 エネルギーと仕事	
	単元4 地球と宇宙	
3 学期	第1章 宇宙の広がり	エネルギー資源利用の現状や新しい技術について学習します。科学技術の進歩により日常生活が豊かで便利になったこと、その反面について学びます。自然界では、植物、動物および微生物が関わり合いながら生息していること、人間の活動なども含め様々な要因が自然界のつり合いに影響していること、自然環境を保全することの重要性を学びます。
	第2章 地球の運動と天体の動き	
	第3章 月と惑星の見え方	
	単元5 科学技術と人間	
	第1章 いろいろなエネルギー	
	第2章 科学技術の発展	
単元6 自然と人間	自然環境の調査と環境保全	
第1章 自然のなかの生物		
第2章 自然環境の調査と環境保全		
第3章 自然の恵みと災害		

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	音楽		学年	第3学年
時間数	35	教科書	中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの（教育出版）・中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版）	
副教材	教科書の確認 音楽2・3下（創育・吉野教育図書）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽典やソルフェージュなど音楽知識を深め、創意工夫して表現する能力を高めます。 ○ 幅広く主体的に鑑賞して音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を身に付けます。 ○ 音楽活動を通して、仲間を信じる気持ち、仲間を支える強さ、仲間を愛する心を大切にして、豊かな人間性を育めるようにします。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ワーク、プリントを活用して授業を進めていきます。 ○ 表現活動（歌唱・器楽・創作）では、自分の思いを演奏や作品で伝えられるように、音楽を形作っている要素をとらえながら、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ○ 鑑賞活動では、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、楽曲のよさをじっくり味わい、伝えられることが大切です。
評価仕方	<p>以下のような視点で総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習状況（表現や鑑賞への取組の態度、定期考査、課題提出状況など） ○ 活動過程（姿勢・声量（音量）・演奏の技術や表現の工夫、練習状況など） ○ 発表（活動の成果） ○ 活動記録（自己評価表、鑑賞記録など）

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 1 音楽の要素をとらえながら ・花 ・大きな古時計 ・帰れソレントへ ・ボレロ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞が表す情景を想像しながら、歌詞のまとまりと旋律や形式との関係、強弱や速度の設定、声部の役割などを生かした表現方法について学習します。 ○ 派生音の運指に加え、サミング、ブレスや息のコントロール、音域に応じたタンギングなどの技能を身に付けて表現します。 ○ 主題の繰り返しや音楽の構成の仕方を理解し、オーケストラの豊かな表現を味わいながら鑑賞します。
2 学期 2 歌い合わせ・聴き深める喜び ・校内合唱コンクール自由曲 ・アニーローリー ・アランフェス協奏曲	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旋律の重なり方や和音の響きを味わいながら、表現豊かな合唱を目指します。 ○ ギターの基本的な奏法である音階・単旋律・コードについて学習し、ギターの美しい音色を味わいます。 ○ 楽曲の旋律やテクスチャを知覚するとともに、ギターとオーケストラとの関係を理解し、独奏楽器であるギターの豊かな表現を味わいながら鑑賞します。
3 学期 3 様々な音楽文化ー日本と世界 ・修了式の合唱曲 ・アイダ ・文楽「義経千本桜」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修了式・卒業式に向けて、式典にふさわしい歌唱方法について学習します。 ○ 音楽と他の芸術との関わりを理解し、それぞれの舞台芸術の特徴について理解を深めながら鑑賞します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	美術		学年	第3学年
時間数	35	教科書	美術2・3上 学びの深まり・美術2・3下 美の探求（日本文教出版）	
副教材	標準美術Ⅱ（愛媛県教育会）・標準美術準拠 鑑賞シート3年（愛媛県教育会）			

学習目標	<p>1・2年次の学習を踏まえ、主体的に美術の活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を深めていきます。自らの考えを明確にし、対象を深く見つめ、感じ取る力や想像力を一層高めて独創的な見方や考え方を培い、自らの表現方法を迫及する能力を高めます。</p> <p>また、様々な美術作品や文化遺産等についての理解や見方を深め、よさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めていきます。</p>
学習の方法	<p>教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。</p> <p>実践的な学習を通し自己の表現方法をより一層高め、美術に対する知識、技術を深めていきます。</p> <p>また、鑑賞の時間を活用して様々な表現のよさや作者の意図を考え、美術作品についての理解や見方をより一層広げていきます。さらに、1・2年次で取り上げた内容にも振り返り、美術に対する知識、技能をより確立していきます。</p>
評価の仕方	<p>期末考査、作品、提出物などを総合的に評価します。</p> <p>また、平常の制作への取組、美術への積極的な関心、意欲、態度も評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 1 立体的に描いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚の曖昧さを生かしたユニークな作品を多く味わい、トリックアートのおもしろさや魅力を学んでいきます。 ○ 立体感のある表現の方法の一つ、投影図法や透視図法を学んでいきます。 ○ 投影図法や透視図法を用いて立体感の感じられる作品を制作していきます。
2 学期 2 彫ることのおもしろさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篆刻がどのように我々の生活に関わってきたのか、歴史をたどって学んでいきます。 ○ 中国の古い書体である篆書体をはじめ、様々な書体を学んでいきます。 ○ 伝えたい内容やイメージを効果的に分かりやすく伝えるために、文字やイラストの形や配置などを考え、楽しい印面のデザインを考えていきます。 ○ 材料や用具の使い方を確認し、それらの特性を学び、制作手順などを理解して、見通しをもって制作していきます。 ○ 印を押すときの持ちやすさ、丈夫さを考えながら、握り部分(鈕)をデザインし、彫刻していきます。
3 学期 3 響き合う言葉と絵	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉と絵を重ね合わせて、新しいイメージを生み出していきます。 ○ 言葉から発想を広げたり、絵から言葉で伝えたいことを考えたりして主題を明確にし、構想を練っていきます。 ○ 言葉と絵のバランスを工夫し、より魅力的な画面構成を考えていきます。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成 29 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	保健体育		学年	第 3 学年
時間数	105	教科書	中学校保健体育（学研）	
副教材	中学校保健体育の学習 3（学研）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができる。 ○ 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることができる。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。
学習の方法	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
評価の仕方	学習の状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」、「知識・理解」の四つの観点で評価します。具体的には、主に「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト」、「記録」、「観戦記録（自己評価等）」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 体づくり運動 水泳 球技（ネット型） 保健分野 （4）健康な生活と病気の予防 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団走、隊形、体操、 ○ 各種の体力を高めるための運動 ○ 新体力テスト <背泳ぎ> ○ ストローク・キックの練習・コンビネーション ○ 記録会 <バドミントン> ○ サービス、ストローク・簡易ゲーム 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養と健康 1 文化としてのスポーツの意義①
2 学期 ダンス 体づくり運動 武道 球技（ベースボール型） 保健分野 （4）健康な生活と病気の予防 体育理論 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創作ダンス・ソーラン節 ○ 各種の体力を高める運動 <柔道> ○ 礼法、基本動作、受け身、投げ技、簡易試合 <ソフトボール> ○ ボール操作、バット操作、走塁、連携した守備 5 生活習慣病とその予防 6 喫煙と健康 7 飲酒と健康 8 薬物乱用と健康 2 文化としてのスポーツの意義② <長距離走> ○ 自己に適したピッチとスライド ○ 呼吸法、記録会
3 学期 陸上競技 球技（ゴール型） 保健分野 （4）健康な生活と病気の予防 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <長距離走> ○ 記録会 <サッカー> ○ ボール操作（ドリブル・パス・シュート） ○ 空間に走り込む動き・コンビネーション・簡易ゲーム 9 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ 10 感染症とその予防 11 性感染症の予防（エイズ） 12 とともに健康に生きる社会 3 スポーツの安全な行い方

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）		学年	第3学年
時間数	18	教科書	技術・家庭（技術分野）	
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（開隆堂）			

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
学習の方法	<p>1 技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深め、生活をよりよくするための知識を学習する。</p> <p>2 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。</p> <p>ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができる。</p> <p>イ 安全に製作活動ができるように留意する。</p> <p>3 班活動や男女の同作業を通して、互いに協力し合うことの大切さを学習する。</p>
評価の方	<p>観点別評価規準に基づいて評価する。</p> <p>○ 生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>○ 生活を工夫し創造する能力</p> <p>○ 生活の技能</p> <p>○ 生活や技術についての知識・理解</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 D 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。 ○ 情報処理の手順やプログラムの働きを学習する。 ○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。
2 学期 D 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる ○ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 ○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できる。
3 学期 D 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できる。 ○ 技術が私たちの生活で果たしている役割や環境を守る工夫について理解できる。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）		学年	第3学年
時間数	17	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）	
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（開隆堂）			

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
学習の方法	<p>1 家庭の機能について理解を深め、生活をよりよくするための知識を学習する。</p> <p>2 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。家庭での実践により知識と技術の定着を図る。</p> <p>3 班活動や作業を通して、互いに協力し合うことの大切さを学習する。</p> <p>4 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む。</p>
評価の仕方	<p>観点別評価規準に基づいて評価する。</p> <p>○ 生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>○ 生活を工夫し創造する能力</p> <p>○ 生活の技能</p> <p>○ 生活や技術についての知識・理解</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 A 家族・家庭と子どもの成長 3 幼児の生活と遊び	幼児の発達と生活の特徴や子どもが育つ環境や家族の役割について学習します。
2学期 4 幼児とのふれ合い 遊び道具の製作 5 これからのわたしと家族	遊び道具の製作などの活動を通して幼児の遊びの意義について考えます。幼児への関心を深め、かかわり方の工夫ができるような能力を身に付けます。 家族または幼児の生活に関心をもち、生活の仕方を工夫します。
3学期 D 身近な消費生活と環境 1 家庭生活と消費 2 商品の選択と購入 3 よりよい消費生活のために 4 環境に配慮した生活	消費者の基本的な権利と責任、販売方法の特徴等について学習します。また、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる力を身に付けます。 消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活をするように生活の見直しを行います。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	英語		学年	第3学年
時間数	105	教科書	TOTAL ENGLISH 3（学校図書）	
副教材	ジョイフルワーク3（リスニングつき）（新学社）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞くこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。 ○ 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めます。 ○ 英語を媒介として、日本語とは異なる言語、日本以外の国や文化に対する理解や共感を深めます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1セクションを2時間で指導します。①多様な言語活動を設定し、新出単語や目標文の定着に努め、②音読やQ&Aを通して本文の内容理解に努めます。 ○ 充実コース・発展コースの習熟度別グループに分け、充実コースは基礎・基本の定着に重点を置いた指導を行います。また発展コースは目標文を用いた言語活動を工夫して授業を進めます。
評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業への取組、定期考査、ワークや週末課題などの課題を評価の対象とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 Pre-Lesson Lesson 1 Chapter 1 Project Lesson 2 Lesson 3 Chapter 2 Project	<p>朝食についてのヒロのレポートを読み1,2年次の学習内容の復習をします。</p> <p>京都、奈良についての記述を読みながらSVOC文構造、受動態の学習をします。</p> <p>伝統文化を紹介する文章を読みます。</p> <p>ミクの部活動の思い出を英語で読みながら、現在完了（完了）の学習をします。</p> <p>ベンとミクの異文化体験についての会話を読みながら、現在完了（経験）の学習をします。</p> <p>外国人の先生へのインタビュー記事の書き方を学習します。</p>
2学期 Reading 1 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Chapter 3 Project	<p>エネルギーと環境について読みながら、1学期の学習内容を復習します。</p> <p>ブータンで農業指導を行った西岡京治の活動について読みながら分詞の後置修飾を学習します。</p> <p>ステイービー・ワンダーの伝記を読みながら、関係代名詞の学習をします。</p> <p>言語の違いについてのヒロとミクのスピーチを読みながら、関係代名詞と接触節の学習をします。</p> <p>尊敬する人についてのスピーチを読みます。</p>
3学期 Lesson 7 Chapter 4 Project Reading 2 Book 3 Project	<p>アンネ・フランクの日記の一部を読みながら、SV0の文構造の学習をします。</p> <p>自分の意見の言い方を英語で学習します。</p> <p>映画「グース」の要約文を読みながら、3年間の復習をします。</p> <p>私の人生を、現在・過去・未来で書きます。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	コミュニケーション		学年	第3学年
時間数	35	教科書	さくさくWriting 3年（浜島書店）	
副教材	なし			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な言語活動に取り組みながら、英語を用いて聞き、話し、書く能力を高める。 ○ ALT とのティームティーチングにより個別指導に努め、より高い学習到達目標に向かって表現能力を高める。
学習の方法	<p>1セクションを3時間で指導します。①文構造の学習とエッセイの構成マッピング及び下書き②清書及びスピーチ発表練習③スピーチ発表という形態で進めます。ALT とのティームティーチングで、下書きの添削や発音指導等きめ細やかな指導を心がけます。また少年式でのスピーチコンテストに向けて、代表生徒への指導も行います。</p>
評価の仕方	<p>授業への取組の姿勢、エッセイの下書きにおける書く力、スピーチ発表における話す力、及び定期考査の得点をもとに評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 自己紹介 文化紹介 体験したこと	<p>未来形と不定詞を用いて1年間にやりたいことを書いて発表します。</p> <p>受動態を用いて ALT の先生に日本文化を紹介する文章を書いて発表します。</p> <p>現在完了形を用いてこれまでに経験したことを書いて発表します。</p>
2学期 修学旅行 大切なこと 将来はどこに住みたい？ 紹介します	<p>過去形と現在完了形を用いて、修学旅行で訪れた場所と思い出について書いて発表します。</p> <p>主語 it, 不定詞を用いて日常生活や社会生活で大切にしていることを書いて発表します。</p> <p>不定詞と未来形を用いて、将来住んでみたい場所について書いて発表します。</p> <p>関係代名詞を用いて、尊敬する人や会いたい人について書いて発表します。</p>
3学期 卒業後の夢 後輩へのメッセージ 中学3年間の思い出	<p>動名詞と不定詞を用いて、卒業後にしてみたいことや実現させたいことを書いて発表します。</p> <p>助動詞を用いて、先輩として後輩へのアドバイスを書いて発表します。</p> <p>様々な文構造を用いて中学校生活の思い出を書いて発表し、気持ちを分かち合います。</p>

備考	本校独自設定科目です。
----	-------------